



# 天橋立名松リバーズ だより

No. 5

2005年6月号

編集・発行  
天橋立名松リバーズ  
実行委員会事務局

〒626-0001 ■事務局■  
京都府宮津市文珠437  
天橋立総合事業(株)内  
TEL 0772(22)5304  
FAX 0772(22)5305  
http://www.tano.or.jp/re-birth/

## みんなの智恵と汗の結晶

### 「天橋立名松リバーズ館」

#### 5月29日オープン!

4月26日より、床めぐり作業からはじまった名松リバーズ館内装工事は、実に多くの人たちの奉仕活動によって、5月29日、堂々オープンしました。松材をふんだんに使用し、全てリバーズメンバーによる手づくりで仕上がりました。

短期間でしたが、連日、汗したみなさん、本当にご苦労さまでした。

さて、オープン当日、お披露目の会に約60余人の方々がお祝いに駆けつけていただきました。

智恩寺住職 萩原頼士様の厳粛な松供養にはじまり、細井副実行委員長の開会宣言、幾世淳紀委員長挨拶、そして感謝状の授与…。

加悦町の大野博史様、岩滝町の田井和雄様、このお二人の技と力抜きに、この「リバーズ館」はできなかったことと思います。本当にありがとうございます。

続いて、京都府丹後広域振興局長 奥田登志男様、宮津市長 徳田敏夫様、京都府議会議員 多賀久雄様、(社)天橋立観光協会副会長 小田彰彦様から、それぞれ心のこもったお言葉とあたたかい励ましをいただきました。

来賓として、  
宮津市助役 井上正嗣様、京都府丹後土木事務所 管理室長 山本崇裕様、宮津商工会議所 竹中史朗会頭、京都北都信用金庫 細見壽彦理事長、京都銀行宮津支店長 谷口政史様、国際ソロプチミスト宮津 大西様、KIR神田常務様など多数のご来賓のご紹介…。

その後、お祝いの儀に移りました。  
祝舞 花柳芳若那様による「松の緑」、津軽三味

線は、西川明宏副実行委員長(竹豊宗)による「津軽おはら節」「津軽じょんがら祝歌」「幻想曲」…。

真打ちは、当日5時、大阪の寄席をひき、そのまま駆けつけていただいた落語家(関西演芸協会会長) 桂 福回治師匠による楽しい楽しいお話。師匠は大の天橋立ファンで、いち早く「ひとことメッセージ」を寄せていただき、今回もボランティアで駆けつけていただきました。師匠のお笑いにお腹をかかえながら、本当は頭が下がる思いでした。

祝賀会は、京都府丹後土木事務所長 松浦輝昭様の乾杯の発声が始まり、オリジナルの松の食器を使いながら歓談に花が咲きました。

途中、細井副実行委員長による『名松リバーズ宣言』の趣旨説明、幾世実行委員長からリバーズ基金への協力をお願い、閉会宣言は、稲葉年治副実行委員長からお礼と今後もしリバーズを見守ってほしいとのことばで宴を終えました。

みんなの汗と智恵、そして熱い思いで出来た館ですが、今後、リバーズ宣言の趣旨に沿い、創作、ビジョン提言、情報発信などの拠点として活用したいものです。

メンバーのみなさん、市民・観光客のみなさん、お気軽にお立ち寄りください。

末尾になりましたが、今回、みんなの思いのこもった名松リバーズ館が完成することができたのも、家主である天橋立総合事業(株)(天橋立ビューランド)様の全面的な協力とご理解があつたことと思います。同社に、リバーズ実行委員会として敬意を表すると共に、心よりお礼申し上げます。





名松リバーズの歩みのパネル



松の悲鳴をよるこびに...



「ひとことメッセージ」を心に刻んで...



素敵な作品がよせられました(2F)

# 天橋立名松リバーズ館

みなさん、是非お立ち寄りください。



智恩寺方丈さんによる松の供養



会場に入りきれない人たち



桂 福回 治師匠



西川明宏氏(竹豊宗)



花柳 芳若那氏



感謝状

岩滝町 田井 和雄様

あなたはかつて、京都の宮大工として金閣寺、銀閣寺の書院、庫裏の仕事にたずさわられました。そうした優れた技を活かし、今回心のもった「名松リバーズ館」を創っていただきました。本日「名松リバーズ館」のオープンに際しあなたのご尽力に感謝の念を捧げます。本当にありがとうございました。

感謝状

加悦町 大野 博史様

あなたはかつて、日本が誇る建築家、安藤忠雄氏と同じ現場で仕事をされたこともありました。そうした経験の中で培われた感性と技を活かし、今回素敵な「名松リバーズ館」を創っていただきました。本日「名松リバーズ館」のオープンに際しあなたのご尽力に感謝の念を捧げます。本当にありがとうございました。



## 感謝状の授与

# 台風で倒れた松 内装などに活用

朝日新聞 天橋立名松リバーズ館

台風23号で倒れた天橋立(宮津市)の松並木の松を活用し、芸術性豊かなまちづくり役に役立つと、松の作品を展示し、創作を楽しむ天橋立名松リバーズ館が同市文珠に完成した。29日午後6時から関係者約50人が集い、オープンを祝う。北近畿タンゴ鉄道天橋立駅横の3階建ての元土産物店を利用した。天橋立名松リバーズ実行委員会が内装から机、いす、作業台、舞台まで、すべて松で改造した。

1階は展示室。玄関に松材の彫刻が据えられ、直径1尺もある根元をくりぬいた作品なども置かれた。壁や展示台にも松が使われている。壁には台風の惨禍と復旧に取り組む市民らの記録写真約30枚を掲示。「ひとこと応援メッセージ」欄では作家の藤本義一氏ら著名人約30人の激励の言葉を顔写真付きで紹介している。2階は創作室。松材の作業台の上で、スライスされた小判状の木片に手紙や絵をかくのを楽しむ。3階は松材の乾燥場。

同委員会は府の協力で確保した倒木松を商店街の看板やベンチなどにも再利用していくという。幾世淳紀・同委員長は「『松の悲鳴を喜びに』の呼びかけに結集した多くの方々の労力と汗でオープンできた。松の風景や香りが漂うまちづくりを進めていく突破口にしたい」と話している。



天橋立の倒木松を再生した作品が並ぶ  
天橋立名松リバーズ館＝宮津市文珠で

## 被災の松、アートに

宮津に「天橋立名松リバーズ館」



天橋立名松リバーズ館のオープンを祝った記念式典(宮津市文珠)

去年の台風23号で倒れた日本三景・天橋立(宮津市)の松を使った作品展示や創作活動の拠点となる「天橋立名松リバーズ館」が二十九日、天橋立近くの同市文珠にオープンした。関係者は「一度足を運んで、松の息吹を感じてほしい」と話している。松の再生活動について、広く知ってもらおうと、地元住民らでつくる天橋立名松リバーズ実行委員会(幾世淳紀委員長)が鉄骨三階建ての空き家を改装。展示作品はもちろん、テーブルや内壁、ステージ舞台などもすべて天橋立の松で作った。

一階は展示スペースで、高さ約一尺のふくろうや虎の彫刻品のほか、天橋立を愛する俳優や作家ら著名人のメッセージも展示されている。二階では、薄く切った松に絵や文字をかくなど、創作が楽しめる。三階は松材の乾燥場。

この日行われた記念式典では、松供養の儀式が営まれた後、地元住民による舞や民謡が披露され、オープンを祝った。

天橋立名松リバーズの  
ダイジェスト版でできる



ご希望の方は、名松リバーズ館へどうぞ

### 編集後記

念願の「天橋立名松リバーズ館」が完成しました。1F展示館・2Fは創作館。みんなの思いのこもったステキな館です。

さて、いよいよこれからが本格的なリバーズドラマのはじまりです。みんなで楽しいドラマを創りましょう。